

ふれあい

生活会議運動大代地区推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

「ふれあい花壇」

地元大代地区の環境美化の一環として「花で飾ろう町かどを」キャッチフレーズに、環境美化部員及び衛生部員、交通安全母の会員、婦人会員協同のもとに、大代東部第一花壇に花植えを初めてから約十年になります。

今年も五月三日に草取り土おこしをし、五月十日にペコニア百五十本、マリンゴールド百五十本、配合肥料二十キログラムを入れ植付けをしました。参加者三十一名。

今後、毎月第二日曜日朝五時より草取りをします。和気あいあい、楽しくやってゆきたいと思えます。皆さんの御協力お願いします。

環境美化部長

大代四区住民統計

(自衛隊を除く)

平成4年4月30日現在

地区	世帯	人口		計
		男	女	
大代東	723	1,243	1,248	2,491
大代中	326	528	535	1,063
大代西	233	427	398	825
大代北	127	228	232	460
計	1,409	2,426	2,413	4,839

御祝儀 お見舞いは

三千元を限度にお返し物はしないようお互い気を配りましょう

あいさつは心のふれあい あいさつしましょう 出あった人と あいさつしましょう

健康診断は 進んで受けよう

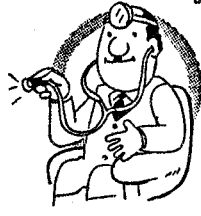
今年も六月、七月と各種検診が行われる時期になりました。五月に申込まれた検診も、とかく痛みなどの病状がないと躊躇し受けない方がおられます。人の幸せは、何よりも健康なことだと云うことは誰でも頭では知ってはいるが、実際は当事者(病人)でなければ感じないものです。

現代病、成人病は予防と早期発見、早期治療が大事なことです。

学校、職場、入院中又は治療中、経過観察者、妊娠中の方をのぞけば年令により違いがありますが、誰でも受診出来ることになっております。

検診は年一回です。自分の健康をたしかめるためにも進んで受診しましょう。

大代衛生推進委員



☆旗振り☆

朝の登校時間に橋本橋のタマトでの旗振りの割当てが、初めて当たった。

孫が一年生になったからである。親は、仕事や他の子供の世話で当然忙しい時間帯なので、私にその役目が廻ってきた。自分の子の時は、車はそんなにな

くて、こういうことはなかったのだがと半分は楽しみで出ることになった。

旗を杖代わりに突っ立っていたのだが、やがて最初に三年生くらいの女の子がやってきて「おはようございます」とあいさつする。こっちも、つりこま

れて「おはよう、いつてらっしゃい」とやる。すると「いつてきます」と返

ってきた。旗を突き出す間もなく、す

たすたと行ってしまった。大変元気な

子だったので、ついこちらも気分が良

くなって、それから「おはよう、いつてらっしゃい」「いつてきます」の

連続、最高気持が良い。運転手さん

の中には、車を停めてにこにこ待って

くれる人もいる。

しかし、朝の出勤時間帯で殆どの運

転手は、知らん振りですとぼして通

過する。これは、えらい仕事だと緊張

の連続。今までは孫を出すとき、あそ

こは旗振り当番の人がいてくれるから

と安心して居たのだが、我が身にな

ると、事故でも起こしたら大変と目を

皿のようにしての約三十分。最後に、

私の飲み友達の子供が通り過ぎると後

子供の姿は全然見えなくなった。ほっ

と一息。

それにしても、車の多いこと。向こ

うの橋(大代橋)を見ると、じゅづつ

なぎの車の列。将来は人と車の通る道

は、全然別にならないと交通事故は防

れないのではないかと考えさせられ

る朝であった。

大代東 跡辺三夫

参加者募集

ガラウソド

ゴルフ大会

期 日 六月二十八日(日)

※雨天のときは中止します。

場 所 大代緩衝緑地公園

集合同時間 九時

開始時間 九時三十分

参加費 無料

参加申込み

六月二十三日(火)まで大代地区公民館(電話364-8442)へ

その他

参加資格は、小学生以上なら老若男女を問いません。

賞品(一、二、三位飛び賞ホール

インワン賞)を準備しておりますの

で、奮ってご参加してください。

主催

大代地区生活会議運動推進協議会

体育部

六月分

大代四区子ども会育成会

体育室使用日程

大代東

六日(土)・二十日(土)

大代西

二日(火)・十六日(火)

大代北

九日(火)・二十三日(火)

《初夏》

ケーンケーンと突然何かの鳴き声が聞こえた。「そら狐だぞ」と年長の友達がいった。それから棒切れも竹も放り出して、夢中でフモトへ逃げ出した。今考えれば雉なのだが、何んとかドラ声でしわがれた声だったので、びっくり仰天もいところだった。何しろ小学校の二、三年位だったから。今は七ヶ浜町淡浜地区、当時は、石炭山とも一貫堂山ともいって沼のある山である。下の平地は上野地区、一望の田んぼであった。現在も田ではあるが、一部は汐見台となって、人家が密集している街になってしまった。寝ていると、蛙の鳴き声がうるさくて眠れない等と苦情がでるくらいすごいものだった。夏は、稲の上にホタルがあちこち光っていて、田舎の風情として充分であった。

今年も、ホトトギスが鳴きウグイスが鳴き、そしてカッコーが鳴き始めた。目の前は、その田んぼの代わりに公園になり、いろんな樹木にいろんな鳥が来ているようである。春の初めはスエという鳥も小さい我が家の庭に来ていた。

びっくりしたといえ、裏の橋本堤跡に七階建てのマンションが建つという。反対する声が上がっているが平和な見晴らしのよい団地のド真中にそんな建物が建ったらどうなるだろう。善良な市民の入る住居を建てるのに反対するわけではないが、一変に目の前の

眺望を奪われる人はどうすればよいのだろう。鳥が鳴き、ホタルが飛び、祭りの太鼓の聞こえる静かな村にはもう戻れないものか。

大代 一区民



鎮守の森

杉の木立に囲まれた柏木神社の境内には、厳寒の冬を越えた春の息吹が漂よい樹木は蒼天に息を吐きシーンと静まり荘厳な感じます。

私の子供の頃は西区に鎮守されており、境内にはそれはそれは太く真直に伸びた松が一本あり、子供達が四人位で抱きかかえる程で、仙台の原の町からも天辺が見えました。

柏木様は塩造りの神様で、柏の葉に塩を包み諸民に与えたと風土記に出ています。その名残でしょうか、春の例祭旧五月二十七日に柏の葉に赤飯を包み、子供達は先を競っていたいたたものです。

秋の例祭は子供御輿渡御、各地区では御輿を盛大に迎えてくれます。「和」「ワッショイ」「ワッショイ」とは「和」

を「背負う」からワッショイというのだそうで、子供達の数が増える程和をつくるのが必要で、ワッ「和」ショイ「背負う」掛声の中に、大代全区の和と輪が呼びかけ合う神輿こそ心のふれあいの原理ではないでしょうか。静まりかえった境内で、ふと空を見上げると雲の陰影が何かを語りかけてくるような気がしてならない。

大代中 東海林聡悟

ルールは

守るためのもの

心にゆとりを感じたのかも知れない。犬と一緒に散歩する人達が増えてきたようです。

我が家でも娘からの頼みで、ビーグル犬を飼った。名前は、「ハック」昨年五月から家族の一員になった。日中は外、夜は玄関に入れておく。履物等かじられ大変だったが可愛い。朝夕の運動公園に行くのが大好き。公園に行くという移植ペラ(ウンチ取り)をくわえる。なかなか滑稽な姿である。道行く人に笑われながらも真面目にくわえていく。公園に着くと早速ウンチ、自分で都合の良い場所にする。最近、終ると処理するまで待っている。ところがである、大分そのままになっている。きたない。そんなことのないように、各自でかたづけるといいの

松浦節子

《お知らせ》

歩け歩け運動

家族そろって、おにぎりをもって遠足気分に参加しましょう

雨天のときは中止します。

◇期日

平成四年六月七日(日)

午前九時二十分～午後二時三十分

◇場所

仙台港中央公園(約5km)

電話254-10730

アスレチックスもあるよ!!

◇集合時間、場所

九時二十分まで大代地区公民館へ集合



交通安全標語

- ▲その横断車の速さを忘れてる
- ▲いい顔に見えます笑顔でゆずる人

【川柳】

多賀城川柳サークル

嫁姑 孫の笑顔でけりがつき

丹野さだ子

振袖の出番なくした春の雪

千葉祥子

ご先祖を守る言葉が遠く住み

鈴木のぶ